

2023年 7月22日 扇川 かまくら環境会議調査 14:00~15:30

参加者3名 ゴミほとんどなし（下流部は草の繁茂で水面が見えない）

- 連日の猛暑のためか草が繁茂し、水面が見えないほど。●2週間ほど雨が無いため渇水気味。
- 猛暑なので調査時間を少し短縮した。●昨年以上に気温、水温が高い。
- 昨年から減少傾向にあったハグロトンボだが、今年は幼虫、成虫ともに見つからず。
- 昨年と同じく、今年も下流部でメダカが多数見付き、稚魚も多数見つかった。クロメダカが主だが、放流されたものと思われる。●プランクトンネットを使用したところ、トビケラや小型のヤゴをかなり捕獲できた。
- ツチガエルの成体（今年カエルになった個体）を発見 ●イシガメを一匹発見、放流されたと思われる。●タヌキの足跡があった。

【水質調査結果】

調査項目	下流側（横須賀線沿い）	上流側（キシヨウブ、土砂撤去後）
気温（℃）	33	30
水温（℃）	27	26
COD（mg/L）	8	6
COD/D（mg/L）	7	6
硝酸（mg/L）	1	1
亜硝酸（mg/L）	0.02	0.02
アンモニウム（mg/L）	0.2	0.2
リン酸（mg/L）	2	1.5

【生物調査結果】 各20分・2名

種名	下流側（横須賀線沿い）	上流側（植生ロール撤去後）
ツチガエル成体		1
メダカ（放流されたものらしい）	20+	
ヨシノボリ類（稚魚）	5+	3
ヌマエビ類	1	5+
ヒラテテナガエビ		1
ミズムシ		1
ナガレトビケラ類幼虫	1	3
ホタルトビケラ（巢のざんがい）	2	1
固着性のトビケラ類（石の裏）	++	++
コセアカアメンボ	2	
シマアメンボ	20+	20+
カワトンボ類幼虫	2	5
カワニナ	10+	20+

目視で確認した生物 イシガメ モノサシトンボ 5+ シオカラトンボ 5+

2023年7月22日 鎌倉市扇川で見つかった生物と調査風景



夏草で覆われる水路



イシガメ (放流されたと思われる)



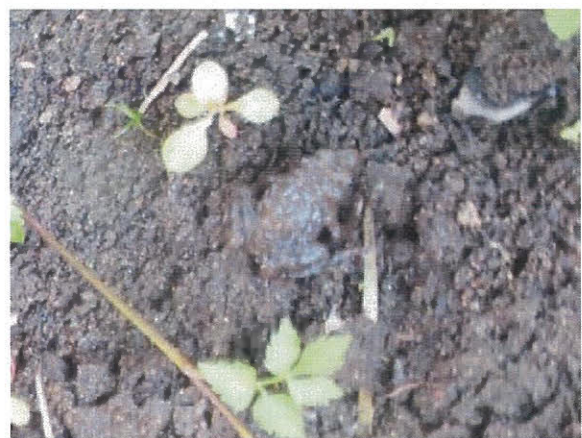
モノサシトンボ成虫



ナガレトビケラ類の幼虫



見つかった生物



ツチガエル

ゴミ 少々 (2点)

- 急に気温が下がり、肌寒さを感じたが、水温は気温を上回っていた。
- 水質は午前中の雨天のせい、多少の濁りは見られたがいつも通り良好だった。
- 植物はセリなどの回復が確認できた。上流ではドクダミが急に増えてきた箇所があった。
- 下流・上流ともにヌマエビやテナガエビが多数確認できた。
- 下流・上流部共にカワニナ、コセアカアメンボ、ヨシノボリなどが確認できた。
- 下流でクロアゲハの飛んでいるのを見かけた。
- 植生ロールに生えたセリに、キアゲハの幼虫虫が育っていた。

【水質調査結果】

14:15~

15:00~

調査項目	下流側 (横須賀線沿い)	上流側 (キシヨウブ、土砂撤去後)
気温 (°C)	24	23
水温 (°C)	24.5	24.5
COD (mg/L)	7	7
COD/D (mg/L)	7	7
硝酸 (mg/L)	1	2
亜硝酸 (mg/L)	0.02	0.02
アンモニウム (mg/L)	0.2	0.2
リン酸 (mg/L)	1.5	1.5

【生物調査結果】

各 30分・2名

種名	下流側 (横須賀線沿い)	上流側 (植生ロール撤去後)
ヨシノボリ類	10*	7
ヌマエビ類	5	10
テナガエビ	3	5
ヒラテテナガエビ		2
クロメダカ	5 ⁺	
シマアメンボ	10 ⁺	10 ⁺
モクズガニ	1	
カワニナ	20 ⁺	20
カワトンボ類ヤゴ		1

2023年9月23日 扇川調査の様子

